

朝の館内放送

令和5年1月5日

あけましておめでとうございます、市長の中村健です。

先月、愛知淑徳大学ビジネス学部の学生を対象に、講演をさせていただく機会がありました。

内容は、所信表明から抜粋した現在の市政運営上大切にしている考え方、稼ぐ取り組みとして企業誘致とふるさと納税の紹介、ワクワク西尾創生コンテストにおける事業化の取り組み、これからの時代に求められる人材についてで、40分ほど話をさせていただきました、その後に質疑応答を行いました。

授業後に学生から寄せられたコメントをフィードバックしていただいたのですが、ワクワク西尾創生コンテストの内容に対する意見や感想が予想以上に多くありました。

特に、ワクワク給食プロジェクト、読書通帳の導入、バランスボールの試験的導入については反響が大きく、市役所の堅いイメージが変わった、西尾市は活気にあふれていると感じた、西尾市に行ってみたいと思ったなど、好意的な意見を多数いただくことができました。

こうした経験を通して感じるのは、地道な仕事を間違いなくやるという土台の上に、市役所やまちの印象が良くなるような発信力のある面白い取り組みをしていくことで、シビックプライドの醸成や観光振興、さらにはふるさと納税や職員採用試験への応募にも繋がっていくだろうということです。

そして、西尾市においては、「ワクワク西尾創生予算枠」で実施している事業がその原動力になりつつあります。

今年は卯年、ピョンと跳ねるイメージから、うさぎは飛躍の象徴とされます。

しかし、飛躍するためには、チャレンジが必要です。

もっとワクワクする西尾市の実現に向け、今年も様々なことに果敢にチャレンジしていける一年にしたいと思うので、ワクワク西尾創生コンテストへの応募など、斬新で面白いアイデアの提供も期待して、新年最初の館内放送を終わります。